2024 年度

特定行為研修を組み込んでいる

認定看護師教育課程（B 課程）

《 募 集 要 項 》

静岡県立
静岡がんセンター

目　　次

Ⅰ．静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程の概要 ･････････ 1
1.　教育理念 ･･･ 1
2.　教育目的 ･･･ 1
3.　教育期間 ･･･ 1
4.　認定看護師臨地実習について ･････････････････････････ 1
5.　特定行為研修臨地実習について ･････････････････････････ 1
6.　修了要件 ･･･ 2
Ⅱ．分野と募集人員 ･････････････････････････････････････ 2
Ⅲ．出願資格 ･･･ 2
Ⅳ．分野別選抜要項及びカリキュラム概要 ･････････････････････ 3
1.　皮膚・排泄ケア分野 ･････････････････････････････････ 3
2.　緩和ケア分野 ･････････････････････････････････････ 4
3.　がん薬物療法看護分野 ･････････････････････････････････ 5
4.　がん放射線療法看護分野 ･････････････････････････････････ 6
5.　乳がん看護分野 ･････････････････････････････････････ 7
Ⅴ．出願手続き ･･･ 8
1.　出願書類 ･･･ 8
2.　出願書類提出方法 ･････････････････････････････････････ 8
3.　出願受付期間 ･･･ 8
4.　受験票の送付 ･･･ 8
5.　入学検定料 ･･･ 9
6.　出願・受験の取り消し ･････････････････････････････････ 9
7.　出願上の注意 ･･･ 9
8.　入学試験の個人情報について ･････････････････････････････ 9
Ⅵ．入学試験 ･･･ 10
1.　試験日と会場 ･･･ 10
2.　入学選考 ･･･ 10
3.　合格発表 ･･･ 10
Ⅶ．入学手続きおよび納付金 ･････････････････････････････････ 11
1.　入学手続き ･･･ 11
2.　納付金 ･･･ 11
3.　合格発表後の辞退について ･････････････････････････････ 11
Ⅷ．試験結果の開示 ･････････････････････････････････････ 11

Ⅰ．静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程の概要

1.　教育理念

成長と進化を継続し、人々を徹底支援できる人材を育成する。

2.　教育目的

1)　がんの臨床・研究・教育を担うがん専門病院の教育課程として、患者家族、看護職者等に対し、特定の看護分野において高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術、知識を用いて支援できる能力を培う。

2)　組織横断的に活躍する看護実践者、チームリーダーに必要なスキルを持ち、特定の看護分野を強みとして、人々をリードできる能力を培う。

3)　特定の看護分野のケア・医療の質を俯瞰できる視点と実践した看護（実践、指導、相談）について省察できる力をもち、あるべき姿に向かって自分自身をリードできる能力を培う。

3.　教育期間

12 か月間（2024 年 4 月～2025 年 3 月）

＜ 年間スケジュール ＞

<table>
<tr><td colspan="9">2024年</td><td colspan="3">2025年</td></tr>
<tr><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr>
<tr><td>開講式</td><td colspan="3">eラーニング
（自施設で勤務しながらの学習）
登校日あり</td><td colspan="4">講義・演習・実習・科目試験
（集合研修）</td><td colspan="2">認定・特定行為
臨地実習</td><td>統合演習</td><td>事例報告
修了試験</td><td>修了式</td></tr>
</table>

4. 認定看護師臨地実習について

教育課程が定める施設（病院、訪問看護ステーション等）で臨地実習を行う。

5. 特定行為研修臨地実習について

<u>原則、臨地実習場所は受講生の所属施設（自施設）とする。ただし、訪問看護ステーション等実習施設をもたない施設などは考慮する。</u>

1）自施設実習を原則とする理由

（1）研修修了後に活動するための基盤づくり

①　研修修了後に自施設で特定行為を実施する場合は指導医が必要となる。

②　自施設実習の準備の段階から指導医と連携を図ることができる。

③　施設によって特定行為の内容や求めるレベルが違うため、自施設に合わせた実習が可能となる。

2）自施設実習の要件

（1）所属施設の医療安全体制、緊急時の対応体制が構築されていること。

（2）臨床実習指導者を確保できること。

① 臨床実習指導者とは以下の者をいう。

・臨床研修指導医

・7 年以上の臨床経験があり、医師・医学生への指導経験を有する医師

・実習区分の特定行為研修修了者（平成 22～24 年の試行事業含む）

・専門看護師、認定看護師、大学での教授経験を有する看護師

② 特定行為研修指導者講習会を受講していることが望ましい。

③ 指導者には必ず医師が含まれていること。

（3）患者への同意説明体制がとれること。

（4）実習期間内に該当症例数を満たす体制を整えることが望ましい。

6. 修了要件

1）当該分野の認定看護師教育基準カリキュラムで定める全教科目（共通科目、認定看護分野専門科目、特定行為研修区分別科目、統合演習、臨地実習）において、履修すべき時間数の 5 分の 4 以上に出席し、かつ教育機関の定める各教科目の試験に合格すること。

2）教育課程の定める修了試験に合格すること。

Ⅱ．分野と募集人員（2024 年 4 月予定）

分野名	募集人員
皮膚・排泄ケア分野	14 名
緩和ケア分野	14 名
がん薬物療法看護分野	10 名
がん放射線療法看護分野	10 名
乳がん看護分野	12 名

Ⅲ．出願資格

出願資格は以下の要件をすべて満たしていることを条件とする。

1）日本国の看護師の免許を有する。

2）看護師免許取得後、通算 5 年以上（注 1）実務研修（注 2）をしていること。

3）2)のうち通算 3 年以上特定の看護分野（認定看護分野）の実務研修をしていること。
各分野の『実務研修内容基準』を満たすこと。

4）編入学者（注 3）の入学要件は、2）3）と同様とし、かつ分野に付随する特定行為研修区分を修了していること。

（注 1） 通算年数については、2023 年 8 月末時点とする。

（注 2） 実務研修とは看護師としての看護実務経験を意味し、フルタイム勤務でない場合には、1,800 時間以上の勤務時間をもって 1 年相当とみなす。

（注 3） 編入学者とは、特定行為研修を修了しており、認定看護師教育を受けるために入学する者を指す。

Ⅳ．分野別選抜要項及びカリキュラム概要

1．皮膚・排泄ケア分野

1） 選抜要項

実務研修内容基準	1)通算 3 年以上、皮膚・排泄ケア領域における看護実績を有すること。 2)皮膚・排泄ケア領域における看護を 5 例以上担当した実績を有すること。ただし、創傷、ストーマ、排泄管理の事例を各 1 例以上含むこと。 3)現在、皮膚・排泄ケア領域における看護を行う臨床現場に勤務していることが望ましい。
筆記試験内容	【選択式問題】 ・基礎看護、がん看護、施策 ・皮膚・排泄ケア領域における解剖生理学や病態、ツール、用品、用語 ・皮膚・排泄ケア領域における看護ケア 【記述式問題】 皮膚・排泄ケア領域患者の臨床場面で、患者の状況についてのアセスメントやケアを問う

2）カリキュラム概要

(1) 教育目的

① 皮膚・排泄ケア分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。

② 皮膚・排泄ケア分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。

③ 皮膚・排泄ケア分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。

④ 皮膚・排泄ケア分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

(2) 教科目と時間数

共通科目　380時間	時間数	専門科目　195時間	時間数
1.　臨床病態生理学	40	1.　皮膚･排泄ケア概論	15
2.　臨床推論	45	2.　皮膚のアセスメントとケア	30
3.　臨床推論：医療面接	15	3.　精神面のアセスメントとケア	15
4.　フィジカルアセスメント：基礎	30	4.　排便機能に破綻をきたす病態の理解と評価	15
5.　フィジカルアセスメント：応用	30	5.　排尿機能に破綻をきたす病態の理解と評価	15
6.　臨床薬理学：薬物動態	15	6.　ストーマの管理	30
7.　臨床薬理学：薬理作用	15	7.　排泄障害の管理	30
8.　臨床薬理学：薬物治療･管理	30	8.　創傷のアセスメントと管理	45
9.　疾病･臨床病態概論	40		
10.　疾病･臨床病態概論：状況別	15		
11.　医療安全学：医療倫理	15		
12.　医療安全学：医療安全管理	15	特定行為研修　区分別科目　68時間	時間数
13.　チーム医療論（特定行為実践）	15	1.　栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22
14.　特定行為実践	15	2.　創傷管理関連	46
15.　指導	15	演習･実習　165時間	時間数
16.　相談	15	統合演習	15
17.　看護管理	15	臨地実習	
		・認定看護分野	150
		・特定行為区分別　各5症例（計20症例）以上	
総時間数　808時間			

2. 緩和ケア分野

1）選抜要項

実務研修内容基準	1)通算 3 年以上、緩和ケアを受ける患者の多い病棟、または在宅ケア領域での看護実績を有すること。 2)緩和ケアを受ける患者を 5 例以上担当した実績を有すること。 3)現在、緩和ケアを受ける患者の多い病院、または在宅ケア領域で勤務していることが望ましい。
筆記試験内容	【選択式問題】 ・がん看護及び緩和ケアに関連した基礎知識 ・緩和ケアの臨床実践に関する基礎知識 ・緩和ケアの臨床場面におけるアセスメントや看護 【記述式問題】 ・緩和ケアの臨床場面におけるアセスメントや看護を問う

2） カリキュラム概要

（1）教育目的

① 緩和ケア分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。

② 緩和ケア分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。

③ 緩和ケア分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。

④ 緩和ケア分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

（2）教科目と時間数

共通科目　380時間	時間数	専門科目　225時間	時間数
1.　臨床病態生理学	40	1.　がん看護学総論	30
2.　臨床推論	45	2.　腫瘍学概論	15
3.　臨床推論：医療面接	15	3.　がんの医療サービスと社会資源	15
4.　フィジカルアセスメント：基礎	30	4.　緩和ケア総論	15
5.　フィジカルアセスメント：応用	30	5.　がん疼痛のマネジメント	30
6.　臨床薬理学：薬物動態	15	6.　がん疼痛以外の症状マネジメントⅠ	30
7.　臨床薬理学：薬理作用	15	7.　がん疼痛以外の症状マネジメントⅡ	30
8.　臨床薬理学：薬物治療・管理	30	8.　スピリチュアルケア	15
9.　疾病・臨床病態概論	40	9.　緩和ケアを受ける患者の家族・遺族ケア	15
10. 疾病・臨床病態概論：状況別	15	10. 臨死期のケア	15
11. 医療安全学：医療倫理	15	11. 緩和ケアにおける倫理的課題	15
12. 医療安全学：医療安全管理	15	特定行為研修　区分別科目　22時間	時間数
13. チーム医療論（特定行為実践）	15	1.　栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22
14. 特定行為実践	15	演習・実習　165時間	時間数
15. 指導	15	統合演習	15
16. 相談	15	臨地実習	
17. 看護管理	15	・認定看護分野	150
		・特定行為区分別　各5症例（計10症例）以上	
総時間数　792時間			

3. がん薬物療法看護分野

1）選抜要項

実務研修内容基準	1)通算 3 年以上、がん薬物療法を受けている患者の多い病棟・外来・在宅ケア領域における看護実績を有すること。 2)がん薬物療法を受けている患者の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。 3)がん薬物療法薬の経静脈投与管理の実績が 1 例以上あることを必須とする。 4)現在、がん薬物療法を受けている患者の多い病棟・外来で勤務していることが望ましい。
筆記試験内容	【選択式問題】 ・がんの病態、治療及びがん看護に関連した基礎知識 ・がん薬物療法の臨床実践に関連した基礎知識 ・がん薬物療法の臨床場面におけるアセスメントや看護 【記述式問題】 ・がん薬物療法を受ける患者とその家族のアセスメントや看護支援を問う

2）カリキュラム概要

（1）教育目的

① がん薬物療法看護分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。

② がん薬物療法看護分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。

③ がん薬物療法看護分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。

④ がん薬物療法看護分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

（2）教科目と時間数

共通科目　380時間	時間数	専門科目　225時間	時間数
1.　臨床病態生理学	40	1.　がん看護学総論	30
2.　臨床推論	45	2.　腫瘍学概論	15
3.　臨床推論：医療面接	15	3.　がんの医療サービスと社会資源	15
4.　フィジカルアセスメント：基礎	30	4.　がん薬物療法概論	15
5.　フィジカルアセスメント：応用	30	5.　がん薬物療法薬の知識	15
6.　臨床薬理学：薬物動態	15	6.　主な疾患のがん薬物療法	30
7.　臨床薬理学：薬理作用	15	7.　がん薬物療法を受ける患者・家族のアセスメント	15
8.　臨床薬理学：薬物治療・管理	30	8.　がん薬物療法の治療計画と看護	15
9.　疾病・臨床病態概論	40	9.　がん薬物療法の投与管理とリスクマネジメント	30
10.　疾病・臨床病態概論：状況別	15	10. がん薬物療法に伴う症状の緩和技術とセルフケア支援	30
11.　医療安全学：医療倫理	15	11. がん薬物療法を受ける患者の継続支援体制	15
12.　医療安全学：医療安全管理	15	特定行為研修　区分別科目　22時間	時間数
13.　チーム医療論（特定行為実践）	15	1.　栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22
14.　特定行為実践	15	演習・実習　165時間	時間数
15.　指導	15	統合演習	15
16.　相談	15	臨地実習	
17.　看護管理	15	・認定看護分野	150
		・特定行為区分別　各5症例（計10症例）以上	
総時間数　792時間			

4. がん放射線療法看護分野

1）選抜要項

実務研修内容基準	1)通算 3 年以上、がん放射線療法を受けている患者の多い病棟・外来・在宅ケア領域における看護実績を有すること。 2)がん放射線療法を受けている患者の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。 3)現在、がん放射線療法を受けている患者の多い病棟・外来で勤務していることが望ましい。
筆記試験内容	【選択式問題】 ・がんの病態、治療及びがん看護に関連した基礎知識 ・がん放射線療法の臨床実践に関連した基礎知識 ・がん放射線療法の臨床場面におけるアセスメントや看護 【記述式問題】 ・がん放射線療法を受ける患者とその家族のアセスメントや看護支援を問う

2）カリキュラム概要

（1）教育目的

① がん放射線療法看護分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。

② がん放射線療法看護分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。

③ がん放射線療法看護分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。

④ がん放射線療法看護分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

（2）教科目と時間数

共通科目　380時間	時間数	専門科目　225時間	時間数
1.　臨床病態生理学	40	1.　がん看護学総論	30
2.　臨床推論	45	2.　腫瘍学概論	15
3.　臨床推論：医療面接	15	3.　がんの医療サービスと社会資源	15
4.　フィジカルアセスメント：基礎	30	4.　がん放射線療法概論	30
5.　フィジカルアセスメント：応用	30	5.　がん放射線療法看護概論	15
6.　臨床薬理学：薬物動態	15	6.　対象に合わせた放射線療法と治療計画	45
7.　臨床薬理学：薬理作用	15	7.　がん放射線療法の治療計画における看護	15
8.　臨床薬理学：薬物治療・管理	30	8.　がん放射線療法を受ける患者・家族の包括的アセスメントと看護支援	15
9.　疾病・臨床病態概論	40		
10.　疾病・臨床病態概論：状況別	15	9.　がん放射線療法に伴う有害事象マネジメントとセルフケア支援	30
11.　医療安全学：医療倫理	15		
12.　医療安全学：医療安全管理	15	10.　放射線療法における放射線防護と安全管理	15
13.　チーム医療論（特定行為実践）	15	特定行為研修　区分別科目　22時間	時間数
14.　特定行為実践	15	1.　栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22
15.　指導	15	演習・実習　165時間	時間数
16.　相談	15	統合演習	15
17.　看護管理	15	臨地実習	
		・認定看護分野	150
		・特定行為区分別　各5症例（計10症例）以上	
総時間数　792時間			

5. 乳がん看護分野

1）選抜要項

実務研修内容基準	1)通算 3 年以上、乳がん患者の多い病棟または外来等での看護実績を有すること。 2)乳がん患者の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。 3)現在、乳がん患者の看護に携わっていることが望ましい。
筆記試験内容	【選択式問題】 ・乳がんの病態、治療及び乳がん看護に関連した基礎知識 ・乳がん看護の臨床実践に関連した基礎知識 ・乳がん診療の臨床場面におけるアセスメントや看護 【記述式問題】 ・集学的治療を受ける乳がん患者とその家族のアセスメントや看護支援を問う

2）カリキュラム概要

（1）教育目的

① 乳がん看護分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。

② 乳がん看護分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。

③ 乳がん看護分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。

④ 乳がん看護分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

（2）教科目と時間数

共通科目　380時間	時間数	専門科目　225時間	時間数
1. 臨床病態生理学	40	1. がん看護学総論	30
2. 臨床推論	45	2. 腫瘍学概論	15
3. 臨床推論：医療面接	15	3. がんの医療サービスと社会資源	15
4. フィジカルアセスメント：基礎	30	4. 乳腺腫瘍学概論	45
5. フィジカルアセスメント：応用	30	5. 乳がん看護概論	15
6. 臨床薬理学：薬物動態	15	6. 集学的治療を受ける乳がん患者の看護	45
7. 臨床薬理学：薬理作用	15	7. 乳がんサバイバーとその家族への支援	15
8. 臨床薬理学：薬物治療・管理	30	8. 乳がん患者の意思決定を支える看護技術	15
9. 疾病・臨床病態概論	40	9. 乳がん患者のボディイメージ変容への援助技術	15
10. 疾病・臨床病態概論：状況別	15	10. 乳がん患者のリンパ浮腫の看護技術	15
11. 医療安全学：医療倫理	15		
12. 医療安全学：医療安全管理	15	特定行為研修　区分別科目　29時間	時間数
13. チーム医療論（特定行為実践）	15	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22
14. 特定行為実践	15	2. 創部ドレーン管理関連	7
15. 指導	15	演習・実習　165時間	時間数
16. 相談	15	統合演習	15
17. 看護管理	15	臨地実習	
		・認定看護分野	150
		・特定行為区分別　各5症例（計15症例）以上	
総時間数　799時間			

Ⅴ．出願手続き

1．出願書類

出願書類一式は、静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程ホームページまたは募集要項最終ページの QR コードからダウンロードしてください。また、様式の記載方法は『書き方見本』を参照してください。

<table>
<tr><th colspan="2">所定の様式書類</th><th>同封書類</th></tr>
<tr><td>様式１</td><td>入学願書</td><td rowspan="8">① 看護師免許証の写し（A4 縮小コピー）
② 特定行為研修修了証の写し（該当者のみ）
③ 受験票返信用封筒
レターパックライトに宛先を明記する</td></tr>
<tr><td>様式２</td><td>履歴書</td></tr>
<tr><td>様式３</td><td>受験志望動機</td></tr>
<tr><td>様式４</td><td>実務研修報告書</td></tr>
<tr><td>様式５</td><td>勤務証明書</td></tr>
<tr><td>様式６</td><td>推薦書(任意)</td></tr>
<tr><td>様式７</td><td>事例要約</td></tr>
<tr><td>様式８</td><td>受験票</td></tr>
</table>

2．出願書類提出方法

レターパックライトに「**〇〇分野　願書在中**」と朱書きの上、下記まで郵送してください。

〒411-0934　静岡県駿東郡長泉町下長窪 1002-1
静岡県医療健康産業研究開発センター内
静岡県立静岡がんセンター　認定看護師教育課程　事務担当

3．出願受付期間

2023 年 8 月 28 日（月）～　2023 年 9 月 6 日（水）　（必着）

4．受験票の送付

出願書類一式を審査し、受験が認められた方に受験票を郵送いたします。**2023 年 9 月 25（月）**までに受験票が届かない場合は、事務担当までお問い合わせください。
受験時は受験票を必ず携帯してください。また、受験票は合格発表まで保管してください。

5. 入学検定料

53,000 円

出願書類受理後、2023 年 9 月 25 日（月）までに納入通知書を受験者の現住所に送付します。

同封の連絡文書を確認の上、**2023 年 10 月 3 日（火）**までに振り込んでください。

期日までに振り込まれない場合は、出願・受験を辞退したものとみなします。

※　振り込みは、ゆうちょ銀行以外の金融機関の窓口をご利用ください。

6. 出願・受験の取り消し

入学試験の出願・受験を取り消す場合は、**2023 年 10 月 20 日（金）**までに認定看護師教育課程に電話連絡し、その後速やかに下記の文例を参考にした書面を送付してください。送付封筒には、「出願・受験取り消し」と朱書きしてください。なお、提出された出願書類は、お返しできません。あらかじめご了承ください。

＜文例＞

出願・受験取り消しについて 私事都合により、静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程〇〇分野の出願及び受験を取り消します。 20〇〇年　〇月〇日　受験番号〇〇　　静岡花子（自署） 推薦者氏名　　印（※）

※推薦者氏名が自署の場合、押印は不要です。

7. 出願上の注意

1)　出願書類等に不備がある場合は、受理しません。

2)　出願書類の記載内容が事実と相違する場合は、入学許可後でも許可を取り消すことがあります。

3)　一度納入された入学検定料については、理由を問わず返還しません。

8. 入学試験の個人情報について

出願にあたって提供された氏名、住所その他の個人情報については、当教育課程における入学試験（出願処理、選考実施）、合格発表、入学手続きその他、これらに付随する業務においてのみ利用します。

Ⅵ. 入学試験

1. 試験日と会場

1）実施日

2023 年 10 月 23 日（月）・10 月 24 日（火）・10 月 25 日（水）・10 月 26 日（木）

試験日はいずれか 1 日を予定しています。各分野の試験日は 9 月中旬をめどにホームページでお知らせします。

2）試験科目及び実施時間

試験方法	試験科目	時間
筆記試験	専門科目 （選択式、記述式）	10：00 ～ 12：00
面接試験	面接（15 分程度）	12：30 ～

※面接試験は原則として受験番号順とします。

3）試験会場

静岡県駿東郡長泉町下長窪 1002-1　　静岡県医療健康産業研究開発センター内
（ファルマバレーセンター）

4）感染対策について

当日は各自マスクを着用してください。

(注)変更がある場合は、ホームページでお知らせします。

2. 入学選考

入学者の選考は筆記試験、面接試験の結果に基づき、入学試験委員会の議を経て行います。

また、合格者が辞退した場合に繰上げ合格の対象となる、補欠者を選定します。

3. 合格発表

1）発表日時

2023 年 11 月 24 日（金）午前 11 時

2）発表場所

静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程　ホームページ

3）入学試験結果の通知

合格発表後、入学試験を受験した者全員に結果を郵送で通知します。

4）繰上げ合格

合格者が辞退した場合に、補欠者の中から繰上げ合格者を選定します。

また、繰上げ合格者については、結果を郵送にて通知します。

なお、これらの結果に関する電話等による問い合わせは一切受け付けません。

Ⅶ. 入学手続きおよび納付金

1. 入学手続き

1）合格者には、合格通知時に入学手続きについての詳細をご案内します。

2）誓約書の提出期日は、**2023 年 12 月 12 日（火）（必着）**です。

2. 納付金

1）入学金： 53,000 円

振り込み期日は、**2023 年 12 月 12 日（火）**です。

2）授業料：978,000 円（内訳：認定看護師教育分 778,000 円、特定行為研修分 200,000 円）

※図書費・教材費、臨地実習中の宿泊費、交通費及び資料代は含みません。

誓約書を受理した後、納入通知書を送付します。

振り込み期日は、**2024 年 1 月 26 日（金）**です。

3）期日までに振り込まれない場合は、入学を辞退したものとみなします。

なお、納入された入学金および授業料は原則として返還しません。

3. 合格発表後の辞退について

合格発表後に入学を辞退する場合は、認定看護師教育課程に電話連絡し、その後速やかに下記の文例を参考にした書面を送付してください。送付封筒には、「入学辞退」と朱書してください。

＜文例＞

入学辞退届

私は、下記の理由により、入学を辞退いたします。

（理由）

20〇〇年　〇月〇日　　受験番号〇〇　　静岡花子（自署）

推薦者氏名　　印（※）

※推薦者氏名が自署の場合、押印は不要です。

Ⅷ. 試験結果の開示

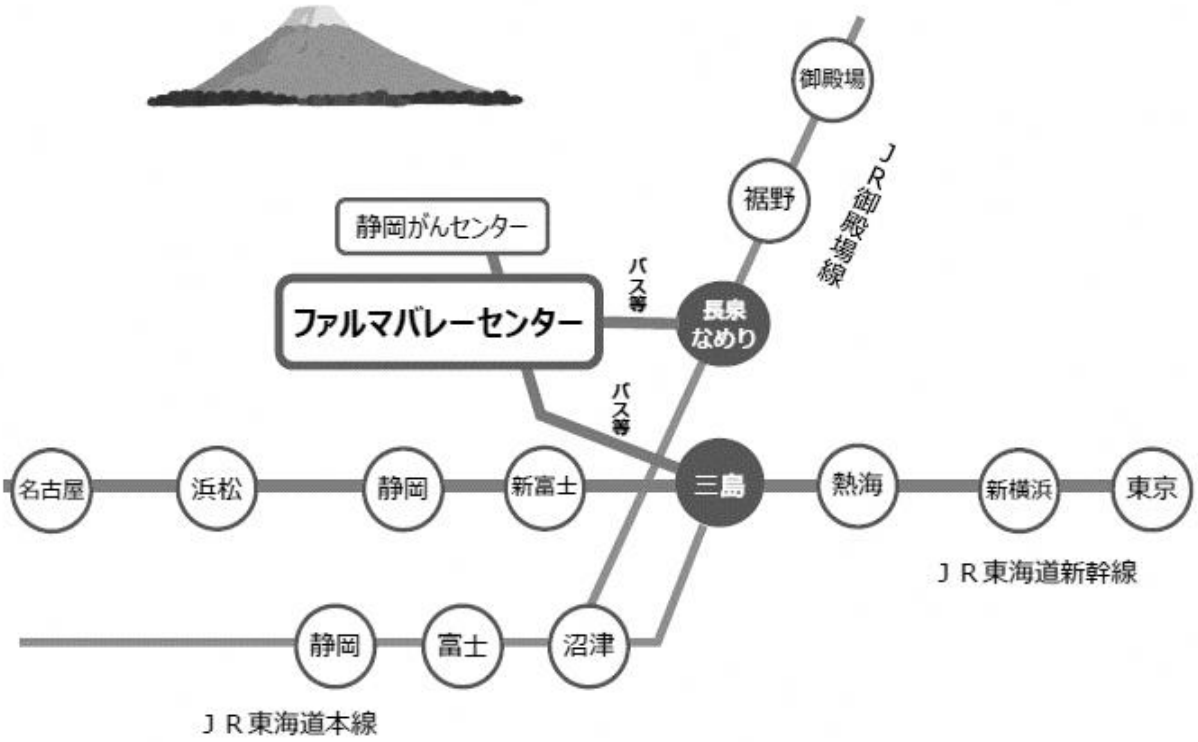
受験者は、自己情報の開示を請求することができます。開示を希望する者は、認定看護師教育課程事務担当へ電話をし、日程を調整してください。当日は受験票および運転免許証など身分を証明できる物を持参のうえ、来校してください。なお、郵送等による開示請求はできません。

開示請求できる人	開示内容	開示期間	開示場所
受験者	総合得点及び順位	2023 年 11 月 24 日（金） ～12 月 22 日（金）	静岡県医療健康産業研究開発センター内 （ファルマバレーセンター）

開示対応時間：土日祝日を除く 10 時～11 時 30 分、13 時 30 分～15 時まで

開示請求希望連絡先（対応時間）：(055) 980-5191（平日 9 時～16 時）

静岡県医療健康産業研究開発センター（ファルマバレーセンター）への交通案内



・JR東海道線　三島駅からタクシー利用の場合、約15分
（バスで約25分、「ファルマバレーセンター」下車）
・JR御殿場線　長泉なめり駅からタクシー利用の場合、約5分
（バスで約10分、「ファルマバレーセンター」下車）

問い合わせ先
〒411-0934　静岡県駿東郡長泉町下長窪1002-1
静岡県医療健康産業研究開発センター内
静岡県立静岡がんセンター　認定看護師教育課程　事務担当
電話番号（055）980-5191
対応日時　平日9時～16時

静岡県立静岡がんセンター
認定看護師教育課程
ホームページ

出願書類ダウンロード